## うるう(閏)日

札幌市医師会 札幌清田病院

## 後藤 義朗

先日の外来で、「私はまだ二十歳にもなりません」と真顔で答えられた妙齢なご婦人がいた。だが、認知症も心配なお年頃。実は、誕生日が2月29日。つまり「うるう(閏)日」なので4年に一度しか誕生日が来ないという論理なのだ。日本の法律では、行政手続き上の誕生日は、2月28日を前日とし、同日の24時に歳を重ねる「みなし誕生日」としている。

では、2月はなぜ28日で、閏年には1日調整する かを知らなかったから「チコちゃんに叱られ」(19/ 2/15)た。答えは「2月は一年の終わりだった」から。 古代ローマでの一年は3月に始まり2月が終わり。 当初は奇数月を31日、偶数月30日とした。この暦の 発案者は有名なシーザー(ユリウス・カエサル)(紀 元前46年)なので「ユリウス暦」という。さらに自 分の誕生月の7月をJulyとした、その後、初代ロー マ帝国皇帝(在位:紀元前27年-紀元14年)はアウ グストゥスという称号を贈られ、ユリウスの月に 続く8月をAugustと改称し日數を増やして31日に し、12月までの順番を変えた(山脇史端:暦とロー マ帝国(ユリウス暦とグレゴリオ暦))。でも、1月 を31日に戻したので、一年の最終月2月には残り28 日となった。この「訳あり」暦が続き、閏年の調整 には2月の最終に1日付加している。

一方、閏年の定めにも歴史経過がある。「1年」とは、地球が太陽を回る、つまり公転の時間であり、実際には365.2422日で、約1/4日のずれを四年に一度閏日を設け修正してきた。ところが、1500年もすると新たなズレ(当時は10日程あった)が生じた。ローマ法皇グレゴリウスが1582年グレゴリオ暦(現在の暦の基本)を定めた。400年間に閏年を97回と3回減少させた。具体的には。西暦が4で割れれば閏年。100年で割り切れると平年だが、400年で割り切れると閏年とする。

思い返せば、西暦2000年は100でも400も割り切れたから閏年となった。その時、暦が話題になったのを覚えている。来る2100年は平年だが、筆者はもはや地球の自転に縛られてはいないから問題ない。

「閏秒」もある。最近は2017年の元旦に1秒を加えた。これは地球の自転のずれの調整だった(86,400秒より少し長い)。「閏月」は、太陰暦を用いた時代に1ヵ月増した。本来「うるう」は増やす意味だが、閏年とは、1年を増やすわけでなく、閏日を設けるだけで、他と意味合いが違うのも興味深い。

地球の自転と公転で、一日、一年を決めるからズ

レが生ずるのは致し方ない。天空のかなたでは「はやぶさ2」が、小惑星リュウグウのサンプルを持ち地球に向かっている。冬には各種流星群の天空ショーが見られた。さらに、ペテルギウスが減光して、超新星爆発が起こったかと危惧されている。この壮大な宇宙の中にあるちっぽけな地球で、閏日にこだわるとは、人間はなんと小さいことかと森田美由紀アナに指摘されよう。

歳を重ねると誕生日はうれしくない。名目二十歳ならそれも楽しいだろう。ところで、永遠の5歳と称する「チコちゃん」の誕生日はいつだろうか。永久に現れないユリウス暦の「2月30日」かも。

## 日本国の歴史を勉強中です

北見医師会 とまべちクリニック

## 苫米地正之

唐突に「オーストラリアに行って英語を勉強したい」と言う子供に、「日本のことも分かっていないのに今さら英語?」となじりました。しかしながら、果たして自分はどうだろうかと考え込んでしまいました。60年間以上も、日本で日本人として生活してきたのですが。

受験に「日本史」を選択して真面目に勉強した。 そう思っていたので、恥ずかしながら、日本の歴史 については理解しているほうではないかと思い込ん でいました。しかし、明治維新以降の日本国の歴史 も、自分が生きた昭和時代のことさえ、平成生まれ の子供たちに説明できない自分に気づきました。

「パール・ハーバー」という映画が平成13年5月に公開され、日本でも上映されました。意味深いタイトルだなぁ、と思っていましたが、その年に「9.11」が発生しました。そして、「現代の真珠湾だ」と…。いくら鈍感な私でも、映画の製作自体に何らかの意図があったのではないかと思わざるを得ませんでした。今年はコロナウイルスのパンデミックによって世界的に混乱状態にありますが、昨年10月18日の世界経済フォーラムという場で、「コロナ・パンデミック・シミュレーション」が開催されています。世界の出来事を、まるで誰かが操作あるいは計画しているようにも感じられます。

第二次世界大戦後70年以上を経たためか、これまで秘密とされていた文書が公開され、また、歴史的新事実が発見されることにより、東京裁判史観とは異なる歴史解釈に基づくという書籍も出回るようになり、ネット環境からも多くの情報が得られます。歴史から、「現代」を理解解釈できる教養を少しでも得たいと思いつつ勉強しています。